

佐々木敦史のドイツ生活日記



【フランクフルト日本人国際学校①】

教室の床は絨毯敷きでドイツらしい重く大きな木製の机と椅子が並ぶ。天井には扇風機が備え付けられているが耐えられないほどの暑さにならないので使用することはほぼない。窓にはシャッターが付き電動で開閉する。小さな手洗い台も設置されている。



【フランクフルト日本人国際学校②】

校舎内は土足だが、体育館は土足禁止。体育館シューズに履き替え使用する。バレーボール1面がとれる大きさで壁面は絨毯張り。倉庫の扉、遮光スクリーンは全て電動式で鍵を持つ教師だけが開閉できる。



【フランクフルト日本人国際学校③】

グラウンドはゴム（タータン）で、陸上トラック、サッカー、ドッジボール、ソフトボールのラインが入っているので使いやすい。昼休みには小学1年生から中学3年生まで、入り乱れながら雪が降っても元気に遊ぶ。



【フランクフルト日本人国際学校④】

日本のような本格的な部活動ではないが週に2日、小学部5年生以上で部活動が行われる。設備も限られ小中合同で行うため体力差もあり、満足のいく運動量とは言い難いが、笑顔で楽しく体を動かしている。



【フランクフルト日本人国際学校⑤】

日本人学校は小学部、中学部で構成されているが幼稚園、補習校も併設され和やかな雰囲気。地元に長く住んでいる生徒の中には幼稚園から中学校まで10年以上お世話になる子もいる。